

岡崎ホスピスケアを考える会通信

2003年9月

21号

事務局：橋詰 0564-53-3100 小野 0564-24-8518 URL <http://www1.ocn.ne.jp/~hospice/>

6月の勉強会報告

6月20日「なぜホスピス緩和病棟が必要か」 県立愛知病院 内田達男先生

内田先生は、なぜホスピス緩和ケア病棟が必要になってきたかを、戦後の社会・家族・生活の選択、医療の変化などを、スライドを使ってわかりやすく説明されました。特に1日3～4万かかる医療費の現状の中で、厚生労働省は入院期間を短縮し、社会的入院を減らしたい。その結果、愛知病院が平均在院日数21日以内、市民病院は平均在院日数17日以内（今後もっと短縮される）で、その後は他院か在宅へ移行せざるを得ないシステムになっている。「家で静かに死にたい → 家族に迷惑をかけたくない → 入院せざるを得ない → 一般病棟では長く入院できない → 緩和ケア病棟が必要」という図式も理解できました。本来は、市民病院は救急病院で急性疾患を、愛知病院は癌専門病院として慢性疾患・緩和医療を担っていることがわかりました。またホスピス緩和病棟には入院期間の制限が無いこともわかり、是非とも岡崎に緩和ケア病棟を・・・という期待が多く出ました。

最後に“ひとは何かを失いつつ日々を重ねています。生への執着には限りがありますが、上手に諦めることができれば、新たな生き方が見つかり、穏やかな毎日が送れます。”という先生の言葉が心に残りました。

7月の勉強会報告

7月18日「私のたまたま箱」の（終末期の在宅ケア）について話し合いました。

1. 「私のたまたま箱」の21頁＜終末期の在宅ケア＞について、新しい情報を記入しました。

お手持ちの方は、追加記入しておいてください。

身近なホスピス・緩和ケア病棟・病床

平成15年3月現在

病院名	ベッド数	所在地	電話番号
みなと医療生協 協立総合病院	16床	愛知県名古屋市熱田区5番町4-33	052-654-2211
安城更生病院	17床	愛知県安城市安城町東広畔28	0566-75-2111
南生協病院	15床	愛知県名古屋市南区三吉町6-8	052-611-6111
国立豊橋病院	4床	愛知県豊橋市中野町字中原100	0532-45-6121

ホスピス・緩和ケア病棟・病床 開設準備中

病院名	開設予定年	ベッド数	所在地	電話番号
愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院	2003年8月	18床	愛知県海部郡弥富町大字前ヶ須新田字南本田396	0567-65-2511
社団法人 日本海員救済会名古屋救済会病院	2003年11月頃	19床	愛知県名古屋市中区松年町4丁目66	052-652-7711

◆ご案内

勉強会 10月の勉強会は竜美丘会館で行います。お間違えのないように！

10月17日（金）10時～12時 竜美丘会館501号室 太田実カトリック布池教会司祭

「終末期の患者さんに寄り添う心のケアとは」＜死を受け入れてどう生きるか⑧＞

11月15日（土）10時～12時 岡崎市民病院 柴田睦岡崎市民病院ソーシャルワーカー

「主治医の上手な見つけ方」＜終末期を何処で過ごすか＞

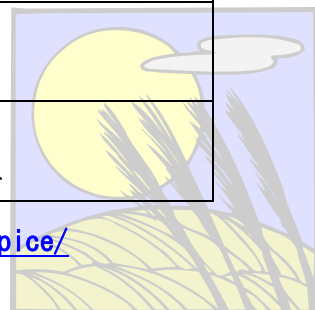
手縫いの会（毎月第2火曜日）県立愛知病院機能訓練室

10月14日（火）10時～12時 11月11日（火）10時～12時

つどい（毎月第3木曜日）アイプラザ 岡崎勤労福祉会館

10月16日（木）10時～12時半（木村先生参加） 11月20日（木）10時～12時半

◆事務連絡 ホームページのアドレスが変更になりました。 <http://www1.ocn.ne.jp/~hospice/>



手縫いの会報告

愛知病院・市民病院・国際病院などに毎月雑巾などをお届けしています。

キワニスドール（ホスピタルドール）について

名古屋キワニスクラブから、50個の人形と50個のキットの作成依頼を受けました。入院した子供たちは今から何が起こるかと不安と恐れを持っています。その子供たちに、この人形を使って手術や酸素マスクの取り付け方、血液検査点滴などの説明をするそうです。また、人形に顔を書き、服を着せて遊ぶこともできます。今回は、大府の小児保健医療総合センターに差し上げるということでした。（橋詰）

福祉の村で編み物をしている方々が、ひざ掛けを編んで下さっています。今月は「なのはな苑」に20枚納めました。

湯たんぽカバー用の新しいタオルの寄付をお願いします。（服部：0564-23-1263）



“つどい”の報告

患者・家族・遺族の集まりです

毎回7～8人の参加があります。貴重な体験を話される大切な場ですので、改めて参加者のルールを運営委員会で相談しました。・他人を批判しない・秘密を守る・指導的なことは言わないの三点です。これからも、安心して話せ、互いに支えあえる場にしていきたいと思っています。（難波）

◆運営委員会からの報告とご案内

- 8月2日（土）講演会「生命（いのち）の輝きを見つめて」語りの会患者塾主催に参加しました。
第2部 山崎章郎氏 講演『ホスピスケアからコミュニティーケアへ』

山崎章郎さんはこれまで「ホスピスを作る」という運動をされてきました。それが、「コミュニティーケア」を作ろうという運動に変わってきています。「ホスピスに入れる人は限界があるが、死を迎えるのは全員である」ということから、福祉・グループホーム・ホスピス・などを合体させ地域の人も気楽に集まれるような、集合住宅を作る準備をしているというお話でした。

終末期に面倒を見てくれる家族のいない人は、どこで最期を迎えたらいいのか選択の余地がありません。2年後の開設を予定し、すでに具体化されているという今日の話しは、私たちのこれからの進む方向に大きなヒントとなる非常に心強いものでした。（難波）

- 8月17日（日）・18日（月）に飛騨高山の千光寺に「心と体の癒しの研修会」に行ってきました。

1日目の午後、お寺の本堂で皆大の字になり心地良く眠っている人も。雨音と共に。
2日目の朝、樹齢1300年の“5本杉”の幹に、手を当ててみました。研修では、2人一組になり、寝ている人のそばでその人の話に耳を傾ける。CDで“癒しの音楽”を聴きながらのリラックス。この間に気持ちは刻一刻と変化し人間も大自然の一部であり、時の流れの瞬間を生きて死ぬことを感じて心が落ち着きました。“今”を大切に、生きたいです！（神谷京子）



- 8月18日（月）に岡崎福祉祭り実行委員会に参加しました。
福祉祭りは10月26日（日）福祉会館で10時～15時まで行われます。是非お出かけください。
- 井田小学校の西脇先生からのお便りです。生徒たちの作った雑巾は、子供たちの手で「なのはな苑」に届けられました。子供たちからの手紙が、ホームページに載せてありますので読んでください。



ひと針に思いをこめて

小学校で初めて針を持つ5年生。玉止め玉結びで苦しみ、並縫いも目がそろわなかったり、曲がったり、苦勞して作ったぞうきんです。「みんなの作ったぞうきんも、寄付できたらいいね」と、手縫いの会のことを報せました。ぞうきんで掃除しながら、看護婦さんは患者さんとコミュニケーションをとっていることを聞いた子供たちは、小学生の自分でもそんなステキなお手伝いができるのだとわかったのだと思います。



- ご寄付ありがとうございました。 加藤福美様